

結腸癌で手術を受けられた患者さんへ

大腸癌に対する鏡視下手術の進歩はすさまじく、現在当院では約 9 割の大腸癌症例に腹腔鏡下手術を適応しています。腹腔鏡下手術の場合、大きな正中切開を行うことが術後の腹壁癒痕ヘルニアのリスクとなり、ヨーロッパのヘルニアガイドラインでも正中を避けた切開創が推奨されております。

今回当院で正中切開をさけたポート配置による腹腔鏡下右側結腸癌手術を考案し、2023年7月～2024年6月までの1年間に15名の患者様に本法を適応いたしました。この新しい手術手技と結果を日本内視鏡外科学会雑誌に投稿したいと考えております。

今回の論文へはこれまでの治療で得られたデータや動画を使用するものであり、新たに検査を行う必要はありません。また個人が特定されるようなデータや動画は含んでおりません。個人情報保護に遵守いたします。

もしも論文発表に同意を得られない場合は申し出ていただくと幸いです。そのような場合でも今後の診療に影響を及ぼすことは一切ございません。

秋田赤十字病院 消化器外科

大溪隆弘

TEL : 018-829-5000